



西彼中通信

【校訓】

自主・創造・敬愛

文責 校長 大串 久隆

師走に入り、温かかったり寒くなったりしていますが、保護者の皆様は、体調を崩されていませんか。

11月末には、生徒会役員選挙が行われ、12月に入ると、人権集会や、総合的な学習の授業参観、DV防止教室に、PTA 研修会など、行事が盛りだくさんで怒濤のような学期末でした。今回は、12月の行事と共に、冬休みに向けて、生徒たちにつけてほしい力や家庭での生活における願い事を、お伝えしたいと思います。

人権学習「ネパール・バズン村の子供たちの生活」を通して、人権について考える。(12/3)

今年度の人権集会では、「ネパール・バズン村の子供たちの生活」を通して、人権について考える。ということで、ネパール・バズン村学校教育を支援する会の代表であられる松下 裕之さんに講話をしていただきました。

バズン村はネパールの首都カトマंडゥから西に約 260Km のところにある人口約 6000 人の村です。

2004 年まで、村には小学校しかなく、最も近い中学校までは徒歩で 4、5 時間かかっていました。小学校卒業後は家の畑の仕事を手伝うため、中学校以降の教育を受けられない子どもが多くいました。

私たちの会では、2004 年より活動を始め、多くの団体や個人の方々から支援をいただき、中学校建設、小学校校舎の建て替え、中学校への図書室、パソコン室設置、ネパール大地震への緊急支援などを行ってきました。2年に1度、実際に現地を訪問し、村の人たちと運動会をしたりピクニックに出かけたりして交流し合い、子どもたちへは文房具や遊具類を届け、活動しながら使い方や遊び方を伝える教育支援や日本文化の紹介などを続けています。



世界情勢は、とても変化が大きく、様々な不安や悲しみ、苦しみを抱えながら生活している人が多くいます。一方で、そのような活動を地道に支え、少しでも笑顔が増えるような活動をしている人もいます。世界や私たちの身の回りにある不安や悲しみなどを、少しでも解消していくために、私たちにできることを見つけて、頑張っていこう。そのように感じる講話でした。

総合的な学習発表会ご来場、ありがとうございました。(12/6)

総合的な学習の授業参観では、1年生による、「ふるさと学習発表会」と2年生による「修学旅行班別学習発表会」が行われました。

1年生のふるさと学習発表会では、まず、西彼祭でも披露された、うず潮太鼓を皮切りに、各班がテーマを決めて、調査してまとめた西彼町や西海市の歴史や文化、地域独自の特徴などが発表されました。

2年生の修学旅行班別学習発表会では、各班が京都市内タクシー研修や伏見稻荷神社、太宰府天満宮など、様々な訪問地を題材にして、研修発表を行いました。みんなで楽しく学習した修学旅行のことを、改めて思い起こす機会となりました。



DV 防止教室(西彼中学校学校保健会企画 12/11)

男女交際や友人関係における、他者との関係づくり、距離感を学ぶ機会とし、コミュニケーションの向上を目指す。という目的のもと、NPO法人「DV防止教室ながさき」から大河内紀美子先生に來校いただき、講話をしていただきました。DVとは、ドメスティックバイオレンスのことで、親密な関係の人から受ける暴力のことです。親密な関係とは、夫婦や恋人、家族、親子、友だち同士も含まれるのですが、今回は、デートDVとして、中高生の交際関係や友達同士で陥りやすい、DVIについてとても分かりやすくお話いただきました。生徒たちによるロールプレイングもとても上手で、90分があっという間に過ぎました。

思春期の性教育について(PTA 研修会 12/12)

家庭での性教育～みんなで語りましょう～♪♪ というテーマで、思春期保健相談士の中山安彩美先生に講話をしていただきました。

この2つの研修会、共通点がたくさんありましたので、紹介します。

相手との関係づくりで大切なこと

- ① 「NO」と言える対等な関係をつくること
家庭で、自分で判断や選択をしたり、NOと言ったりできる、子どもの人間関係づくりの基礎となる。
中学生の交際や友達関係においても、お互いが対等で、NOという意思表示を認め合う関係が大切である。
- ② 相手との距離感や関係性は、言葉の使い方で作ることができる。
相手を責めるYOUメッセージではなく、相手に自分の思いや願いを伝えるIメッセージを使う。
- ③ プライベートパーツのルールを尊重する。
相手の身体において、勝手に触ってはいけない部分がある。
相手には相手の意思があり、自分には自分の意思がある。それをお互いに尊重する人間関係をつくる。

令和7年 生徒会役員の任命と引継ぎ式(12/17)

生徒会役員選挙を経て、令和7年度の生徒会役員と専門委員長が選任され、17日に任命式と新旧役員引継ぎ式が行われました。

引継ぎ式では、現役員から、役員としての責任の重さとともに、心掛けてきたことやみんなに支えてもらったことへの感謝、そして、西彼中学校を少しでも良くできたという充実感が述べられ、新役員への期待とともに、とても大切な心構えとみんなを信じることの大切さを引き継いでくれました。

令和6年を支え、高めてきた現役員

令和7年を牽引していく新役員

生徒会長	安藤 仁子	生徒会長	中村 青空
3年副会長	富澤 宥成	2年副会長	相川 眞羽
2年副会長	中村 青空	1年副会長	山口 心弦
3年書記	杉本 優乃	2年書記	田添 友香
2年書記	田添 友香	1年書記	富永 凧紗
3年運営委員	富永 泰志	2年運営委員	池谷 瞭佑
2年運営委員	池谷 瞭佑	1年運営委員	吉川 陽花
学習委員長	浦山 美湖都	学習委員長	濱 門代
生活整備委員長	石田 歩来	生活整備委員長	川添 琉愛
文化図書委員長	磯野 心海	文化図書委員長	入江 愉生
保健体育委員長	佐藤 胤詢	保健体育委員長	今村 卓大
給食委員長	御厨 瑞希	給食委員長	境 快斗
放送委員長	折川 ころこ	放送委員長	富永 万結



門松を飾りました。(12/23)

切り口、笑顔に見えませんか？

元PTA会長の戸田さん(H19会長)と峯さん(H25会長)のご指導のもと、約20名のボランティア生徒で、門松づくりを行いました。門松は年神様が家へ尋ね入るにあたっての目印とされており、一年中落葉しない松、成長が早く生命力が強い竹、新春に開花し年始にふさわしい梅の3つの縁起物が用いられるものです。峯さんからは、竹の切り口が笑顔に見えることや切り口の節目に神様が腰かけることが話され、とてもほっこりするような意味合いがあるんだな～と思いました。この門松づくりを10年以上も続けていただいていることに心から感謝するとともに、子どもたちが生き生きと活動している姿を見て、地域の方の思いを子どもたちが引き継いでいるのだと、強く感じました。

充実した冬休みに

冬休みには、お正月があり、家族や親類とともに過ごす家庭も多いと思います。中学や高校の3年間は、あっという間に過ぎるうえに、気がつくともどもたちは、親元から離れるような年代になってしまいます。早い場合は、高校生の時から親元を離れる場合もあります。そう考えると、中学生の時の家族での生活は、とても大切なものとなります。また、ここ数年、コロナ禍での生活で、家族や親類などとも会えなかったり、一緒に過ごすこともできなかつたりしたことと思います。そういった意味でも、家族や親類縁者が集って、お互いの繋がりを高め合うことはとても大切だと思います。生徒たちには、家族や身内の方々への感謝の思いを高める機会にしてほしいです。

冬休みは、2週間しかありませんが、1学期や2学期の学校生活や学習のことを振り返って、良い学校生活の在り方、良い学習の在り方を考えて、新たな気持ちでスタートできる期間だと思います。

そこで、ぜひ、家庭での学習習慣に活用してほしいのが、クロムブック端末です。クロムブック端末を学びの道具として有効に活用することで、各自が主体的に学びに向かう力を高めるとともに、ICT機器を正しく、効果的に活用して、情報活用力や必要な学習を効果的にを行う学習調整力を付けてほしいと考えています。冬休み明けには、3年生は、受験に突入します。また、1,2年生も、西海市学力テストが控えています。西海市は、トライットという動画学習ソフトとe-ライブラリというAIドリルが活用できますので、計画的に復習して、自分で自分を高める長期休業にしてほしいです。

さて、3年生にとって、この冬休みは、新たな道に進むための追い上げと最終調整の時期となります。これまで積み上げてきた知識や技能、思考力・判断力・表現力をいかに発揮できるか、経験と学びを結集して受験に臨んでほしいと思います。

「春風や闘志抱きて丘に立つ」

この初春を、新たなスタートのための決意の時と定め、悔いのない取組を行ってください。

頑張れ! 3年生!!

あなたなら あなたたちなら できる できる できる!!

